

JR東日本ユニオン

# 東日本大震災 ニュース

ジェイアール東日本労働組合  
(JR東日本ユニオン)

震災対策本部

2011年5月16日

## 被災地への確実な支援行動は 共に生きて繋がっている事の実感！！

第9次水戸地本いわき地区支援行動を5月13日、八王子地本の協力により展開した。20リットルポリタンク50ケースへ飲料水を入れて2トントラックに積み込み搬送した。

12日、第3回震災対策会議でこれまでの救援活動の総括と今後の展開を確認した後、八王子地本の富岡委員長・清水副委員長・根岸副委員長・浅倉執行委員で富士山の飲料水をポリタンクに入れる作業を行い、朝6時に大月(八王子地本富岡委員長・根岸副委員長・清水副委員長・今泉執行委員・佐藤立川分会長、今井本部長・JR連合荻山企画部長)を出発し被災地(勿来～小名浜～塩屋崎)を廻りながら11時にいわき市平下高久の国井新一さん宅へ到着した。水戸地本佐原委員長をはじめ9人の仲間が集まってくれた。

16人全員での作業とミーティング・食事会、その後八王子支援隊は大月への帰途につき、荻山企画部長と今井本部長は会津若松へ行き、地震による全壊被災者である仙台地本福島県支部会津若松地区の佐藤仁さんにカンパを手渡し激励した。

また、本日(16日)は、浪江町から熊谷市籠原に避難している水戸地本原町運輸区・吉田博さんへ、JR連合坪井会長と今井本部長が、救援カンパ見舞金を届けた。

未曾有の震災・津波・原発事故は計り知れない痛手を負った。被災された方々は今なお深い絶望の淵に立たされている。受け入れ難い現実を受け入れずにはいられない現実、筆舌に尽くしがたい苦悩苦痛の日々の中であって、被災された方々の秩序ある行動と礼儀正しく節度ある対応に尊敬と敬意を払うとともに、その美しい姿と心を改めて誇りに思う。自然の驚異に慄きながらも、自然の恵みに生かされているという現実を受け止め、引き続き、労働組合の役割として被災地への確実な支援を繋げて行かなければならない。



## 全地本力を合わせてガンバロー！！